

# 伊豆市の市章・花・鳥

## 今年2月から募集した 「伊豆市の市章」 が決まりました！

6月はじめに市章の候補が14点に絞られ、市役所と各支所で市民による投票および、伊豆市のホームページでインターネット投票を約1週間行いました。その結果を参考にして、市章選定委員による選考作業を行い決定しました。市章の応募総数は、1,818点でした。皆さんの多数のご応募、誠にありがとうございました。

6月26日(土)の伊豆市合併記念式典では、採用された方の授賞式を行いました。これからは市のシンボルとして使用していきます。

## 市章



採用  
伊豆市  
んだのは  
定ませ  
青の中  
の海を  
豆市に

6日(金) 姜建華(二胡)

楊宝元(中国琵琶)

蘇宇虹(古箏)

7日(土) 竹内正実・濱口晶生

(テルミン)

ただすけ(キーボード)

8日(日) 赤木りえ(フルート)

伊藤芳輝

(スパニッシュギター)

吉見征樹(タブラ)

【料金】各二千七〇〇円

(当日券は三千円)

【販売所】伊豆市観光協会(修善寺

・天城・中伊豆・土肥 各観光案

内)・アキツ(修善寺駅前)・ミニ

トップ修善寺横瀬店・ギャラリー

しゅぜんじ回廊・一石庵(温泉場)

## アマチュアウィーク

地域のアマチュアによる公演  
週間(無料)。

【日 時】8月10日(火)～8月16日(月)  
午後7時30分～8時30分(予定)

【出演者】

○アモール・イ・エスペランサ

○竹の会

○里比居都

○朗々会 そうざら

○ハンダグリーベア

○ミモリー

○チンプンカンプン劇団

○伊豆音楽一座

○ババン・サリ



# 鳥・木が決まりました

## 花



## ワサビの花

伊豆市が生産高日本一を誇るワサビの花は、一般的に3月から4月に咲くといわれています。花は食用として出荷されますが、白く可憐な姿は見た目もきれいで、私たちを楽しませてくれます。



## 木



## 桐(クヌギ)

伊豆市の特産のひとつであるしいたけ。クヌギはしいたけ栽培のほたぎとして、親しまれています。高さは約10メートルで、空に向かって伸び、伊豆市にふさわしく大自然の香りが漂っています。



## 鳥



## 雉(キジ)

市内に生息する代表的な野鳥。自然豊かな所に姿をみせ、きれいな羽が特徴的です。修善寺自然公園や西天城高原でも多く見られます。



## 考案者のことば

市の市章のイメージとして、まず頭に浮かぶのは、素晴らしい大自然でした。特に色は限定していませんでしたが、シンボルカラーとして、緑と青の中間色を提案しました。緑は山を、青は土肥をそれぞれ象徴し、山と海の融合色は新生伊豆を象徴すると思います。  
いづみ  
大川伊都美さん(田沢)

ノスタルジックロマン/修善寺

# 桂座

2004  
8/5 THU ~ 8 SUN



修善寺の夏の風物詩、「修善寺芸能処 桂座」が今年もギャラリー・修善寺回廊で開催されます。5年目の今年はおなじみの姜建華さん(二胡)、赤木りえさん(フルート)に加えて、沖縄音楽のよなは徹さんや津軽三味線の新田昌弘さん、不思議な楽器「アールミン」の竹内正美さんなど、日本の北から南まで、中国、ロシアと世界中の新しい熱い風が修善寺温泉の夏を盛り上げます。後半のアマチュアウイークも地元元アーティストの発表の場として、様々なジャンルが楽しめます。

## プロ・ウイーク

各分野で活躍する一流の出演者が、修善寺の空気を肌で感じ得たものを表現する公演週間(有料)。

【日時】 8月5日(木)~8月8日(日)

午後7時30分~8時30分(予定)

## 【出演者】

5日(木) 新田昌弘(津軽三味線)

よなは徹(沖縄三線)

和田啓(打楽器)

